

第3回 学校運営協議会 議事録

日時 令和7年2月20日(木) 14:00～15:30

場所 岡山県立瀬戸高等学校 会議室

(委員9名のうち7名出席)

1 開会

会長挨拶

2 出席者紹介

委員名簿で代替

3 協議

- ・本校の課題解決への取組、学校支援状況の振り返り及び学校最終評価

校長

学校の主な活動実績

(修学旅行、大学入学共通テスト、DX・ICT 関連活動、地域連携・美術部活動)

教務課

授業改善、ICT 機器の活用は肯定的回答が 83%であった。Chromebook の活用も 90%と高水準であった。

生徒が主体的に活動できる場面として、オープンスクールや学校説明会に参加させた。中学生の参加学年の拡大もあり、多くの中学生が参加してくれ、その対応をしてくれた。

社会貢献活動やフィールドワークに多くの生徒が参加し、成果を上げている。また、一部の生徒ではあるがオンラインによる国際交流(韓国の高校)をすることができた。

ホームページも同窓会からの支援でリニューアルを予定している。更なる PR をしていきたい。

生徒課

生徒会活動の結果として瀬戸高祭のアンケート結果を載せている。文化祭・体育祭共に満足度は高かった。来年度は暑さ対策として文化祭の一部を瀬戸公民館、体育祭を山陽ふれあい公園体育館で空調のある施設で実施する予定である。

進路指導課

クリスマスのセトフェスでは、第2部で外部の社会人・生徒を交えての教員研修ができた。

国公立大学の年内入試は昨年度の 13 名から 26 名に大幅に増えた。詳しい大学の比較は資料を参考にしてほしい。

厚生課

校内歯科治療率は県平均を下回っており、治療率の向上が課題である。

健康ホームルームは、「性の多様性」をテーマに LGBTQ について学んだ。

避難訓練は初の試みとして、生徒のみでの避難形式で実施をした。しかし、振り返りでは避難経路の 1 年次の確認不足など問題点も明らかになった。来年度は時期を早めるなどの工夫が必要である。

1 年次

2 学期終業式の日には振り返りを実施した。

部活動や学校行事への参加は積極的にできており人間関係づくりは高い評価となっている。生活習慣の確立は今後の課題である。

「決まりよく」が課題であるが、生徒の素直さが 1 年次の集団をよい方向に向かわせている。今後も年次団中心に協力して対応していく。

2 年次

学習時間の確保が今後の課題だが、少しずつ上がってきている。

7 割くらいの生徒は進路目標が明確だが、学習サイクルを回すことにはつながっていない。3 年生に向けて受験生の意識をしっかりと持たせたい。

学校行事やお互いの気持ちの尊重なども力を入れていきたい。

3 年次

「大いに学び楽しむ」を目標に指導してきた。学校行事や部活動など前回のアンケート結果よりも数値は上回っている。生徒はいろんなことに挑戦してくれた。

3 年間通じて挨拶やコミュニケーションをしっかりと行って行動してくださいというふうに指導し、生徒もよく頑張ってくれた。数値は 96% である。

3 年団のみならず他年次の先生方の協力をいただいた結果である。今後、前期後期と頑張る生徒を引き続き指導していく。

教育 DX 推進室

次年度も授業改善につながるよう、先生方には AI を含めた ICT 研修を計画し、生徒たちにはデジタルリテラシーのさらなる向上を促していきたい。

生徒を含め広く公募した結果、多目的Ⅱ教室を「DX ラボ」、多目的Ⅲを「ひたぶるーム」に名称変更をした。生徒が主体的に活動できる環境整備をさらに進めていきたい。オンラインコンテンツを企業と連携しながら開発することで授業改善につながる取り組みになればと考えている。

・質疑応答・委員からの御意見・御感想

- (委員1) 中学2年生がセトフェスでお世話になった。中学校では情報を収集し、まとめることは向上したが、自分の言葉で発表することに課題を持っている。瀬戸高校ではそのあたりの指導はどのようにしているか。
- (校長) 外部の先生、大学の先生、研究者に頼っていくことも大切。今年は大学生や大学院生のメンバーが一部のグループとつながり、データの活用方法などの助言をいただいた。このことは大きかったと思う。また、回数を重ねていくしかないと思う。
- (委員2) 3年の進路指導の工夫点は何か。
- (3年次) Classiで生徒面談で得た情報を担任だけではなく、年次団全員が見られるようにした。また、細かいスパンで教室を開放し、自習できる環境を作った。放課後には公民館でたくさんの生徒がお世話になったようである。
- (委員2) 防災に関してマイタイムラインの作成予定はあるか。
- (厚生課) 地震、火災、水害など様々な案がある中ではあるが、生徒自らの避難訓練で時間いっぱいとなったため、本年度は作成していない。
- (委員2) 職員室の配置換えによる効果はどのようなものがあったか。
- (主幹教諭) 話しやすい環境づくりを念頭に行った。机の上の本棚を撤去できる先生はしていただくことも併せて行ったが、「話しやすい環境になった」という意見もあるが「変わらない」という意見もあった。衛生委員の学校医からは「職員室が明るくなりましたね」という言葉をいただいている。
- (委員3) 生徒課の瀬戸高祭でのスマホの使用のアンケートの教員回答率が少ないのではないか。ルールとは具体的にどのようなものか。
- (生徒課) ルールは写真機能は許可。SNSに投稿することは禁止している。このことは生徒からの意見を尊重し生徒会が動き実現したもの。アンケート結果から教員の意見は様々である。
- (委員4) 現代ではスマホ無しは考えられない生活様式となっている。もっと生徒のほうからスマホの使用ルールの提案が出てくればよいと思った。避難経路も普段から廊下などに矢印で掲示してあってもよいのではないか。
- (委員5) DXではCIOの力が大きく、先生が転勤などにより活動が低下しないようにしていけばよいと思う。来年度以降はどうなるのでしょうか。
- (校長) 来年度も継続でいけるよう、現在申請をしている状況である。

- (委員 6) DX は進学を目的としたものなのか。社会に貢献することを目的としたものなのか。
- (校長) 将来を担う若者の育成を目的としている。来年度は社会貢献ができるようにしたい。
- (委員 6) 進路傾向はどうか？旧帝大などのようなところは生徒は希望しないのか？
- (進路課) 資料にある進学実績のところへの希望が強い。新型コロナが 5 類に移行したところから関西方面に進学をする生徒は増えてきたようである。

- ・その他
特になし

4 その他

- ・令和 7 年度学校運営協議会に委員について
継続任用を依頼

- (委員 5) 赤磐市広域路線バス（赤磐・瀬戸線）について報告、依頼
路線バスが瀬戸高校周辺まで延線。生徒の利用促進を依頼。